

2024 年度 工学院大学学科連合委員会 総括

工学院大学学科連合委員会



委員長 三上達矢



1. 組織構成

工学院大学学科連合委員会は新宿キャンパスに新宿本部、八王子キャンパスに八王子支部を設置して活動を行った。今年度は会計局、企画局、渉内局、渉外局、広報局、資材局、オリター・アンケート局の7つの局に配属して活動を行った。

2. 方針

工学院大学学科連合委員会では以下の目的を達成するために、本部と支部に促われず、委員それぞれの意見を尊重し合い、活動を実施した。

3. 目的

工学院大学学科連合委員会は、各学科の学生からの要望を集め、各団体や本学に反映させ、本会の企画や活動を通して学生間の交流を促し、知識・見聞を深めさせることで本学学生の学生生活を改善することを目的とし、活動を行う。また、学園の広報並びに本学の発展に寄与することも目的とする。

4. 活動内容

A) アンケート活動

アンケート活動は本学学生の要望を集めるものであり、本会の目的を達成するために実施すべき活動である。八王子、新宿の両キャンパスで本学学生、学園祭では来場者を対象とした多種多様なアンケート実施した。また、アンケート結果の一部を他団体にも共有を実施し、本学の発展へとつなげた。

B) 前期企画

八王子、新宿の両キャンパスで学生間の交流を促し、今年度は今後の学生生活の改善と向上を目的として実施した。両キャンパス共に掲示板を用いた企画を実施し、本学学生が持つ不安や悩みを共有できる場所を提供した。また、キャンパス間で掲示板を交換することにより、普段関わることの少ない他学年との交流を図った。

C) 後期企画

八王子キャンパスのみで実施した。学部学科間での交流を目的とし、今年度は八王子キャンパスの食堂を使用してビンゴ企画を実施した。企画中にゲームを取り入れることで参加者同士の交流の促進を図った。また、昨年度同様にテーマを設定した。テーマに沿った装飾、演出、衣装を施すことで食堂にてひとつの世界観を表現し、参加者全員が楽しめる企画を作り上げた。

D) 大抽選会

新宿祭にて実施した。来場者にアンケートを回答していただき、抽選にて返礼品として景品または協賛品を贈呈した。アンケートの内容として新宿祭の各コンテントの満足度や、次年度以降につながる設問を用意することで、改善点を集計することができた。より多くの来場者に回答していただくため対面形式ではなく、web 上で実施可能なものにした。得られたアンケート結果は本会だけではなく他団体に共有することで、本会並びに学園祭の発展につなげた。

E) 学園祭への参加

プレ八王子祭、八王子祭、新宿祭に参加した。ステージ企画、模擬店、教室展示で参加し学園祭に協力し盛り上げた。また、来場者に対してアンケートを実施し、学園祭の満足度と改善点を集計し、次年度以降の学園祭の発展に寄与した。

F) 他大学との交流

本会の渉外局が中心となり他大学との交流を実施した。他大学と交流を通して新たな知識、価値観を吸収し、本会の活動向上につなげた。今年度も新宿本部、八王子支部の両方で他大学との交流を実施した。他大学合同主催交流会や学園祭視察を実施し、他大学の学生団体の活動を間近で体験し本会に反映することで、よりよい学生還元を実施につなげていった。

5. 総括

2024 年度は例年通りに近い活動を行うことができた。これまで築き上げてきたものをベースに、活動を改良していく年度となった。来年度以降も本会の目的を達成するために質の高い企画や活動を通して、さらなる本会の発展を目指していく。以上を 2024 年度の総括とする。